

第9回 定期 総 会 報 告

(2013 年 11 月 29 日 14 時 30 分～18 時 30 分)

会 員 総 数：91 名 (9 月 30 日現在)

出 席 者 数：18 名

委任状提出者数：15 名

1. 開会の辞 (南塚信吾)

出席は現時点で 17 名、委任状提出者 15 名。規約 13 条 (会員五分之一にて総会成立) に基づき、本総会は成立しましたので、AYF 第 9 回定例総会を開催します。

皆様よくご出席くださいました。

AYF も設立以来 10 年目にはいります。あっという間の 9 年間でした。活動もその世界が広がってきたような気がしています。組織的にも財政的にも気持ちのうえでも、しっかり取り組んでいきたいと思います。

これまでの反省をふまえて、これからの方針をたてて取り組んでいきましょう。

2. 代表挨拶 (多賀正夫)

本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

この AYF 総会も 2005 年の設立総会からかぞえて 9 回目、やがて 10 年目に入ります。設立当初のことや、「やまなみ塾」開校式のことなど思い起こしておりますが、はじめはほんとに手探りの状態ではじめた活動でした。「開校式訪問ツアー」からはじめ、形から言えば来期になりますが「第 7 回 AYF ツアー」まで、現地の子供達、青年達との交流をはかってきました。すばらしい英語劇も見せてくれるようになり感動も得ることができました。

昨年度は、高島屋での初めて「こどもたちの絵画展」を開催しました。大変に会員のみなさまにはご負担をおかけしましたが大成功であったと思います。お疲れさまでした。会員以外のかたがたにも多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

これからもなにをすべきか、協議を重ねながら、皆で力をあわせて活動を続けていければと願っております。

1. 議事

(1) 2012 年度活動報告 (山岡直子)・・・別紙参照

中川さんのツアー報告書の原稿から、村の現状をお知らせします。

「クラウ村に建設されたパイヨン中学では、校舎の一部が完成し、アンコール遺跡修復に関する授業や実習も始まっている。将来、アンコール遺跡を描いた

事のある感受性豊かな子どもが遺跡修復のことを学び始め、その予備軍として育ちつつあるというイメージが描けるようになった。JST は内外の NGO や公的機関とも連携を探りつつ、将来バイヨン中学校に職業訓練所を併設するという希望ももっている。」一抜粋

(2) 2012 年度会計報告 (山岡幸代)・・・別紙参照

- ・会計監査 (稲垣宏之) から承認の報告があった

(3) 2013 年度活動案 (山岡直子)・・・別紙参照

(4) 2013 年度予算案 (山岡幸代)・・・別紙参照

- ・1 \$ = 100 円で換算して予算をたてた。
- ・現地でやまなみ塾の管理・運営を依頼している JST から英語の先生のペースアップの依頼があった。現在は 1 名につき 120\$/月である。遺跡修復に携わっている人が、150 \$ ~ 160 \$ であることを考えて、もう少し値上げしてほしいのと。

検討の結果

—— 140 \$ /月で今年度分からアップすることになった。

20 \$ × 2 (名) × 12 (月) = 480 \$ (48000 円 1 \$ = 100 円として) の追加支出となる。予備費から支出。

JST から、収支報告を出していただくようお願いします。

(5) 絵画展について (山岡直子・朝内 努)

- ・高島屋での絵画展の反省

8 月 30 日に実施した反省会ででたこと

- ① 盛況でよかった。絵画も完売し、来場者も予想よりかなり多かった。
- ② 有森さんのトークショーもよかった。今回の絵画展にふさわしい適切な内容でよかった。
- ③ 寄付依頼の箱を置いてよかったのでは。
- ④ せっかくなので一回で終わらせたくない。

高島屋からも継続してほしいという希望がある。

このことに関しては、いくつかの問題点がある。

財源の問題、担当する会員への負担、同じことを繰り返すことはできないから、何らかの工夫が求められるなど。

※この件に関しては、臨時理事会を開いて検討後決めることとする。

- ⑤ 思いがけない質問にどう対応するか—基本はひとりで対応しないこと。

- ・今後の継続について

- ① 理事会では出席理事が 3 名だったこと。他の理事からの返答も含めて、意見が半分に別れた。高島屋さんでもう少し財政的負担をお願いできるかということと、11 月 10 日の高島屋さんでの全社的会議の結果を待つて、再度検討することとなった。

- ② 11月10日の高島屋の会議の結果、来年もやりましょうという返事をいただく。但し、財政的には前回がぎりぎりです。それ以上は無理である。また、子どもたちの絵の展示だけではなく、プラスアルファの企画も考えて欲しいという要望があった。
- ③ 毎年ではなく、2年か3年に一度の割合で開催できるといい。
- ④ 高島屋サイドでは、やるなら毎年やるということではできない。
- ⑤ 毎年となると、AYFとしては、財政的負担、担当する会員への負担が大きくなり無理がある。また、プラスアルファの企画もプレッシャーになる。全体として、毎年開催するには無理がある。高島屋での絵画展は実施しないということに決まりました。

※昨年度の高島屋での絵画展の開催に際しては、高島屋さんの多大な協力とOBの方々の有形無形の尽力がありましたことを感謝します。(事務局)

(6) AYFの今後について

総会の時間が長くなったため、この項目に関しては随時話し合っていく。

※折にふれ、お電話でもメールでも結構ですので、これからも率直な意見を出していただければと思います。(事務局)

(6) 第八回ツアー実施について

季節の良い時として、11月から3月まで考えられるが、12月と1月は女性の参加は難しいので、観光客があまり多くない11月上旬頃がいいのではないかな。

3. 閉会の辞(長谷川瑞穂)

本日はご多忙のところ長時間にわたり、第9回AFY総会にご出席頂きありがとうございました。

次年度は、もっと出席して皆さんとともに活動を続けていきたいと思っています。お互いに健康に気をつけて、継続していきましょう。

以上

2013年12月4日

文責 AYF事務局 山岡直子

出席者：多賀正夫、多賀敏美、岡田雅子、野村裕子、青木克子、南塚信吾、朝内努、畝本紀子、堀越美智子、関野晋、水津幸一、久世基、長谷川瑞穂、山岡直子、山岡幸代、盛和子、水島康夫、水島園子
(会員18名)